

<様式1>

芸術

愛媛県立西条農業高等学校

科目名	音楽 I	単位数	2 単位
学 科	農業科	学 年	1 年
教科書	MOUSA 1	副教材	

学習 目標	ナ、様々な音楽活動を通して音楽の良さや美しさを感じ取り、自ら表現する力を養うと
----------	---

評価		
評価の観点	評 価 規 準	評価方法
知識・技能	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けている。	・授業態度 ・ワークシート ・実技テスト
思考・判断・表現	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができる。	・授業態度 ・ワークシート ・実技テスト
主体的に学習に取り組む態度	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、音楽表現を深めようとしている。	・授業態度 ・ワークシート ・実技テスト

	学 習 項 目	学習内容・学習のねらい
1 学期	歌唱・器楽 校歌を覚えよう・ボディーパーカッションを楽しもう 歌唱 イタリア語の歌を歌おう 鑑賞 舞台芸術の魅力を味わおう 器楽 オノマトペでリズムアンサンブルを創ろう	・ボディーパーカッションを通して音色や奏法、表現を工夫し、他者と協働しながら演奏する。 ・物語のあらすじや歌詞の内容、登場人物の心情を理解し、表現を工夫して歌う。 ・音を重ねたり連ねたりしたときの響きなどの特徴について工夫して創作する。
2 学期	器楽 ギターでアンサンブルしよう 歌唱 指揮に挑戦してみよう 器楽 グループでトーンチャイムを奏でよう 歌唱 ドイツ語の曲を歌おう	・ギターの奏法を身に付けるとともに、表現を工夫して演奏する。 ・指揮のポイントを理解し、それぞれが工夫しながら指揮をする。 ・歌詞の意味を理解し、曲にふさわしい表現を工夫して歌う。
3 学期	鑑賞 日本音楽に触れよう 器楽 クラスで器楽アンサンブルに取り組もう 器楽 アンサンブル発表会	・日本音楽に親しみ、言葉の発音や体の使い方を身に付ける。 ・各パートの役割を理解するとともに、全体の響きをイメージしながら表現を工夫する。

その他	
-----	--

科目名	音楽Ⅱ	単位数	2単位
学 科	農業科	学 年	2年
教科書	MOUSA 2	副教材	

学習 目標	主体的・創造的に音楽表現や鑑賞に取り組み、多様な音楽文化への理解を深めるとともに、他者と協働しながら音楽の魅力を探究する力と豊かな感性を養う。
----------	---

評価		
評価の観点	評 価 規 準	評価方法
知識・技能	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、音楽表現をするために必要な技能を身につけている。	・授業態度 ・ワークテスト ・実技テスト
思考・判断・表現	音楽の特徴や表現意図を捉え、音楽表現を工夫するとともに、楽曲や演奏のよさや美しさを感じて取り組んでいる。	・授業態度 ・ワークテスト ・実技テスト
主体的に学習に取り組む態度	主体的・協働的に学習活動に取り組み、他者と関わりながら表現や鑑賞を深めようとしている。	・授業態度 ・ワークテスト ・実技テスト

	学 習 項 目	学習内容・学習のねらい
1 学 期	器楽 ギターでアンサンブルしよう 鑑賞 映画音楽を鑑賞しよう 歌唱 日本歌曲を歌おう	・ギターの音色や表現の特徴を味わうとともに、音色や表現を工夫してペアで発表する。 ・音楽と映像との結びつきや変化に注目しながら鑑賞し、映画音楽の魅力を味わう。 ・日本歌曲に親しみ、表現を工夫して個性豊かに独唱する。
2 学 期	創作 旋律の雰囲気を変化させよう 器楽 グループでトーンチャイムを奏でよう 鑑賞 世界の諸民族の音楽に触れよう	・身近な曲の旋律をもとに、曲のもつ表情や雰囲気を変化させ、個性豊かに編曲する。 ・アンサンブルを通して音色や奏法、表現を工夫し、他者と協働しながら演奏する。 ・世界の諸民族の音楽を鑑賞し、特徴を理解する。
3 学 期	鑑賞 コンサートを開こう 器楽 グループでトーンチャイムを奏でよう	・アンサンブルを通して音色や奏法、表現を工夫し、他者と協働しながら演奏する。

その他	
-----	--

芸術

愛媛県立西条農業高等学校

科目名	美術 I	単位数	2 単位
学 科	農業科	学 年	1 年
教科書	新・高校生の美術 1（日本文教出版）	副教材	なし

学習 目標	美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を身に付ける。
----------	--

評価		
評価の観点		評価方法
知識・技能	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。	授業態度 作品 評価プリント
思考・判断・表現	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。	授業態度 作品 評価プリント
主体的に学習に取り組む態度	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、完成を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。	授業態度 作品 評価プリント

	学 習 項 目	学習内容・学習のねらい
1 学期	鑑賞 オリエンテーション 「美術とは何か」 表現・鑑賞 絵画 「グラデーション」「手のデッサン」 表現・鑑賞 デザイン「デザインの世界」 表現・鑑賞デザイン「メッセージを伝えるポスターをつくろう」（人権ポスターの制作）	小・中学校での図画工作・美術の学習を振り返り、自分の心の中を見つめたり、気付かなかった自分の考えに気づいたりして、自分の美術を見つけていく美術 1 の学習のイメージを理解する。 ものを捉えるための基本的な技能である鉛筆による明暗表現やデッサンにより、5段階の「グラデーション」と「手のデッサン」を通じて、ものの見方や捉え方、立体や質感の表現を学ぶ。 「飾る」「伝える」「使う」「環境」などの幅広いデザインの役割を理解し、デザインとは何か、デザインするときに大切なものは何かを考える。 伝えたいメッセージや伝える場面などを基に、形や色彩、イラスト、文字などによる伝達効果を考え、構想を練ったり鑑賞するとともに、イラストや文字の形や色、構成などの効果を考えて、人権ポスターを制作する。
2 学期	表現・鑑賞 デザイン「暮らしの中で使うデザイン」「フォトフレームの製作」 表現・鑑賞 デザイン「暮らしの中で使うデザイン」「アクセサリ（キーホルダー）の製作」 鑑賞 絵画「日本の美術」日本の美術のよさや特質を味わおう	使う人や場面、機能や用途、美しさなどを考えて、暮らしの中にあるものをデザインする。自らの趣味や好きなものをイメージして、フォトフレームの装飾についてデザインする。 自らが使う場面を考えて、機能的で自分の好みの形態をイメージして、デザインを考える。実際に材料を加工してキーホルダーを製作する。 屏風や掛軸、絵巻などのよさや美しさ、日本の美術の表現の特質、美術文化の継承と創造について考え、日本の美術の独自の美意識や自然観、政策の知識などを理解し、金運や空間、構図、色彩などの効果、全体のイメージや作風、洋式など捉えて鑑賞する。
3 学期	表現・鑑賞 絵画 「印象派絵画の模写」 鑑賞 オリエンテーション 「これからの私と美術」	自分が好きな印象派の作家を選び、その作家の作品を鑑賞して、色彩やタッチ、構図などの表現方法の特徴を理解する。その作風を再現することによって印象派が光と影の移ろいなど、戸外の明るい色彩を捉えようとしたことを理解し、自らの表現に生かす。 生活と美術の関わりに目を向け、これからの生活の中で、美術を通して学んだことをどのように生かすことができるのかを考えるとともに、「これからの美術と私」について1年間の学びとともに振り返る。

その他	
-----	--

科目名	美術Ⅱ	単位数	2単位
学 科	農業科	学 年	2年
教科書	高校生の美術2（日本文教出版）	副教材	なし

学習目標	美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、完成を高め、豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。
------	---

評価		
評価の観点		評価方法
知識・技能	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする	授業態度 作品 評価プリント
思考・判断・表現	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	授業態度 作品 評価プリント
主体的に学習に取り組む態度	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、完成を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。	授業態度 作品 評価プリント

	学 習 項 目	学習内容・学習のねらい
1 学期	鑑賞 オリエンテーション 「美術とは何か」 表現 絵画 「身近なものを描く」「靴のデッサン」 表現・鑑賞 デザイン「メッセージを伝えるポスターをつくろう」（明るい選挙啓発ポスターの制作） 鑑賞 絵画「日本の作家の作品から」	美術Ⅰの学習を振り返り、美術Ⅱの学習のイメージを持ち、美術の学びの深まりと意味について考える。 自分の靴という身近なものを題材にして、靴の形や質感、重量感や明暗などを鉛筆デッサンで表現し、立体的な再現方法を学ぶとともに、自分の持ち物に対する愛着を再確認する。 選挙権や政治制度に対する理解を深めて、国や地方の代表である議員の選挙と投票権の行使、投票率アップにつながるようなイラスト、文字や色彩などからメッセージや伝えるように構成して啓発ポスターを制作する。 日本人作家の絵画作品を鑑賞して、その表現や技法について味わい理解を深める。
2 学期	表現・鑑賞 デザイン「暮らしの中で使うデザイン」「アクセサリ（キーホルダー）の製作」 表現・鑑賞 彫刻「抽象彫刻の制作」 鑑賞 絵画「琳派の継承と発展の系譜」	自らが使う場面を考えて、機能的で自分の好みの形態をイメージして、デザインを考える。実際に材料を加工してキーホルダーを製作する。 石材の中にある自分のイメージした形を見つけ出し、石材の中から生み出すように、表面を彫刻刀などで削り出していく。彫刻刀を安全に使用することに気を付けて、慎重に制作を行う。 琳派の作品を鑑賞し、その継承と発展の系譜を理解する。琳派の特徴を取り入れた現代のデザインなどの新たな美について考える。
3 学期	表現 絵画 「空想画の制作」 鑑賞 絵画「外国の作家の作品から」	高校生活の思い出や自分の好きなものをなどを題材にして、自分がイメージした情景について、色彩や構図を考えながら絵画作品に仕上げていく。心象風景やイメージしたものを作品に具体化するために計画的に描いていく。 外国の作家の絵画作品を鑑賞して、その表現や技法について味わい理解を深める。

その他	
-----	--